

地域の安心・安全を守る“環境研究所”

会員企業紹介

わが社の

イチオシ



プロファ設計(株)

杉山 崇 氏 (伊勢崎支部所属)

Q & A

▼会社概要を教えてください

伊勢崎市下触町に本社を置く、測量・建設コンサルタント・計量事業者です。技術者に与えられる最高の資格と言われる技術士(十一名)のほか、測量士、環境計量士など、多数の国家資格取得者が在籍しております。

昭和四十五年七月、日本列島改造の兆しが現れ始めたところに現会長が創立しました。以後、皆さまからご支援、ご指導を賜り、昭和四十九年に組織変更。その際、初心を忘れないとの思いから日本列島(Japan Propha)を意味する「プロファ」を社名としました。

▼イチオシのPRを

平成十七年十二月に「環境研究所」を開所しました。主な業務は、水質・土壌・大気調査、放射能検査、土壌汚染対策法に基づく調査、臭気鑑定、騒音・振動・低周波調査、残留農薬分析、生態系調査、生活環境調査などです。

企業の抱える環境に関する課題についてもコンサルティング

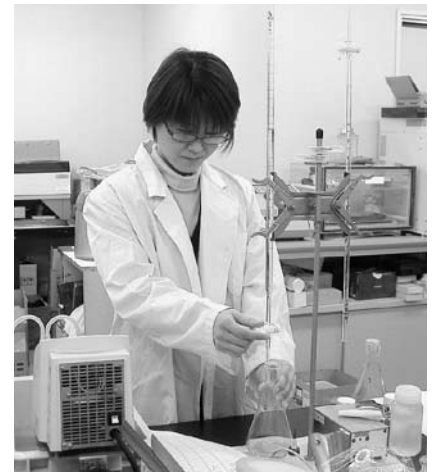
を行っております。必要に応じた守秘義務契約の締結、コンプライアンスなどを社内で徹底しておりますので、お気軽にご相談ください。

原発事故による放射性物質、利根川水系のホルムアルデヒドなど、皆さんの記憶にも新しいのではないのでしょうか。目に見えない問題だからこそ、安心・安全を縁の下の力持ちとして地域貢献できればと思っています。

▼なぜ環境研究所を?

当社は、国土交通省・群馬県・市町村などの仕事が一〇〇%に近い公共事業依存型企業でした。しかし、公共事業のコスト削減や談合問題の表面化に合わせ、異業種への転換が強く叫ばれるようになり、危機感を抱いていました。

そこで、本業との連携が可能であったこと、測量・設計業と環境計量業を兼ね備えた企業が北関東になかったこと(当時)、法律改正や国に環境省が設置されたことなどを理由として、環境分野へチャレンジすることに



しました。

▼開所後は順調に?

環境分野進出に対する社員の反発もありました。また、民間顧客との付き合いや営業ノウハウが皆無であったため、環境計量の実績・信頼を一から築いていくのに大変苦労しました。

四年前の一月、赤堀町の農家が生産する春菊から残留農薬が検出された際、地元農家の手助けを目的に採算度外視で協力を申し出ました。そのことがきっかけで、今まで無関心だった農家やJAからも信頼を得ることができました。

その他にも、研究所内を見学していただいていたから仕事を受注したり、分析項目の実態を細かく説明するなど、お客さまへの真摯な対応の積み重ねで、着実に

に実績と信頼を築けてきていると思います。

▼今後の展望は?

当社の主力業務である公共事業は減少の一途を辿り、数年前から業者の淘汰に向けた動きも活発になっています。さらに震災の影響により、国・県ともに被災地へ予算が回される可能性があります。

「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るのでもない。唯一生き残るのは変化する者である」というダーウインの言葉を胸に、将来の経営を考えていかなければなりません。

まだまだ環境研究所はスタートを切ったばかりですが、これからも地域に愛される企業を目指していきたいと思っています。



所在地/伊勢崎市下触町629-1
連絡先/TEL 0270-62-2111
U R L /http://www.propha.co.jp